

宇宙服参考資料

宇宙服（船内着） Sokol-KV-2

実際に宇宙へ行った宇宙服です。

この宇宙服 Sokol-KV-2 は、NASA 宇宙飛行士ルー博士が地球と ISS (国際宇宙ステーション) との行き帰りに宇宙船内で着用した実物です。ルー博士は、ロシア・ソユーズ宇宙船(TMA-2) の飛行エンジニアとして最初のアメリカ人です。ルー博士は、ISS エクスペディション-7 (2003 年 4 月 25 日～10 月 27 日) の任務でこの宇宙服を着用しました。

■エドワード・T・ルー（博士） NASA 宇宙飛行士

1984 年 コーネル大学電子工学科科学士。

1989 年 スタンフォード大学応用物理学博士課程修了。

1994 年 12 月、NASA 宇宙飛行士に選ばれる。

1997 年 STS-84 でミッションスペシャリストとして飛行。

2000 年 STS-106 のミッションスペシャリストとペイロードコマンダー。

2003年 ソユーズ TMA-2 の飛行技術士となり、NASA ISS サイエンスオフィサーと ISS エクスペディション-7 の 飛行技術士の役割を果たした。宇宙滞在は 206 日超、EVA (宇宙遊泳) はトータル 6 時間 14 分を記録。



(右) ルー博士

エドワード・T・ルー (博士)

NASA 宇宙飛行士

略歴：1963年7月1日、スプリングフィールド（マサチューセッツ州）出身。ホノルル（ハワイ）とウェブスター（ニューヨーク州）が彼の故郷とされる。既婚、子供1人。趣味は、アクロバット飛行、レスリング、ピアノ、テニス、サーフィン、スキー、旅行。彼の父親チャーリーと母親スノーリリーはフレモント（カリフォルニア州）在住。

学歴：R.L トーマス高校（ウェブスター：ニューヨーク州）を1980年卒業。1984年、コーネル大学電子工科学士。1989年、スタンフォード大学応用物理学博士課程修了。

所属：米国宇宙飛行士協会、航空機オーナー・パイロット協会、実験航空機協会

功績：コーネル大学大統領奨学生、ヒューズエアクラフトマスターズ会員、NASA 特別勲功賞、NASA 勲功賞、ガガーリン賞、コモロフ賞、ベレゴホイ賞、NASA 宇宙飛行賞3回。

経歴：博士号取得後、ルー博士は太陽物理学と天体物理学の分野に携わる研究物理学者であった。コロラド州ボルダーの高高度観測所に1989年から1992年まで滞在し、最後の年にコロラド大学の天文物理学研究所での共同研究者に任命される。

1992年から1995年まで、彼はハワイホノルルの天文学研究所の後期博士研究員であった。ルー博士は、いくつかの理論上の進歩を構築した。それは、初めて太陽フレアの根本的物理学の基本的理解の提供となった。太陽フレア、宇宙論、太陽振動、統計力学、プラズマ物理学、近地球小惑星を含む広範囲にわたる話題に関する記事を発表した。マルチエンジン等級の商用パイロット証明書を所有し、1500時間以上の飛行時間がある。

NASA 経験：1994年12月、NASA 宇宙飛行士に選ばれ、1995年3月にジョンソン宇宙センターへ移動し、1年間のトレーニングと審査を完了し、ミッションスペシャリストとしての任務遂行に適任であるとされる。技術的任務の中で、ルー博士が宇宙飛行士オフィスコンピューターサポート部門に勤務して以来、宇宙ステーション訓練やシャトル訓練のための宇宙飛行士指導の役割を果たしており、現在は宇宙飛行士コンピューターサポート室に勤務している。ルー博士は、1997年 STS-84 でミッションスペシャリストとして飛行、2000年には STS-106 のミッションスペシャリストとペイロードコマンダー、2003年には、ソユーズ TMA-2 の飛行技術士となり、NASA ISS サイエンスオフィサーと ISS エクスペディション-7 の飛行技術士の役割を果たした。

3つのスペースミッションのベテランであるルー博士は、宇宙滞在は206日超、EVA（宇宙遊泳）はトータル6時間14分を記録した。

宇宙飛行経験：STS-84 アトランティス（1997年5月15日～24日）；ロシア宇宙ステーションミールとのテンデブーとドッキングのための NASA の6回目のシャトルミッション。このミッションを

完了するのに、ルー博士は地球の 144 軌道、360 万マイルを旅行し、合計 9 日間、5 時間 19 分 55 秒の宇宙滞在を記録した。

STS-106 アトランティス (2000 年 9 月 8 日～20 日) : 12 日間のミッションで、クルーは初めての永久クルー滞在のための国際宇宙ステーションを準備した。7 人の宇宙飛行士 (パイロット含む) は、6600 ポンド以上の補給品、バッテリー設備、電動コンバータ、生命維持、宇宙ステーションでの運動機器を提供した。エドワード・ルーとユーリ・マレンチェンコは、新たにズベズダサービスモジュールと宇宙ステーションに到着したパワー、データ、通信ケーブル接続のため、6 時間 14 分の宇宙遊泳を実行した。STS-106 は、地球の軌道を 185 周し 490 万マイルを 11 日間、19 時間 10 分でカバーした。

ISS エクスペディション-7 (2003 年 4 月 25 日～10 月 27 日) : ルー博士は、ソユーズ宇宙船 (TMA-2) の飛行エンジニアとして打ち上げるための最初のアメリカ人であった。飛行エンジニアとして NASA 国際宇宙ステーションサイエンスオフィサーのルー博士は、国際宇宙ステーションシステムを維持し、科学活動を監督する国際宇宙ステーションでの 6 ヶ月の含む期間を過ごした。この任務を完了するに当たり、ルー博士は、宇宙滞在 184 日間、21 時間 47 分を記録した。